

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月25日

上場会社名 メタウォーター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9551 URL <https://www.metawater.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 賢二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務企画室長 (氏名) 高瀬 智之 (TEL) 03-6853-7317
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	25,015	18.2	△2,068	—	△1,666	—	△1,578	—
2024年3月期第1四半期	21,161	6.2	△2,522	—	△2,141	—	△1,895	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △364百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △1,458百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△36.20	—
2024年3月期第1四半期	△43.48	—

(注) 株式需給緩衝信託が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	153,317	75,022	46.6
2024年3月期	168,843	75,676	43.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 71,370百万円 2024年3月期 72,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.00	—	24.00	46.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	2.7	9,000	△9.1	8,700	△17.1	6,100	△11.3	139.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	45,758,500株	2024年3月期	45,758,500株
2025年3月期1Q	2,142,964株	2024年3月期	2,142,964株
2025年3月期1Q	43,615,536株	2024年3月期1Q	43,589,639株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 株式需給緩衝信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復しました。また、世界の経済状況は、一部の地域において弱さがみられるものの、景気を持ち直しが続きました。一方で、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に注視する必要があります。

このような状況のなか、当社グループは、2027年度（2028年3月期）を最終年度とする「中期経営計画2027」を策定し、その達成に向けて「①各事業分野の成長戦略」「②企業価値向上に向けた投融資戦略」「③サステナビリティに関する取り組み」を重点施策として全社を挙げて取り組みます。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次表のとおりとなりました。

主に環境エンジニアリング事業及び海外事業が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回りました。

なお、当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第1四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

	2024年3月期 (百万円)	2025年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	21,161	25,015	+3,853	+18.2
営業利益	△2,522	△2,068	+454	—
経常利益	△2,141	△1,666	+475	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1,895	△1,578	+316	—
受注高	51,771	64,083	+12,311	+23.8
受注残高	259,327	314,139	+54,811	+21.1

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、マネジメント・アプローチの観点から報告セグメントを従来の2区分（プラントエンジニアリング事業、サービスソリューション事業）から4区分（環境エンジニアリング事業、システムソリューション事業、運営事業、海外事業）に変更しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。なお、各セグメントの前期比については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で算出しています。

(環境エンジニアリング事業)

環境エンジニアリング事業セグメントは、水環境事業及び資源環境事業で構成され、国内の浄水場・下水処理場・資源リサイクル施設向けの機械設備等の設計・建設及び保守・維持管理等を主たる業務としています。

水環境事業においては、補修工事を含むサービス分野の業績が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回りました。資源環境事業においては、大型の建設工事案件が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回りました。

	2024年3月期 (百万円)	2025年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,413	7,087	+1,673	+30.9
営業利益	△1,138	△808	+329	—
受注高	13,018	16,280	+3,261	+25.1
受注残高	87,303	111,156	+23,852	+27.3

(システムソリューション事業)

システムソリューション事業セグメントは、システムエンジニアリング事業及びカスタマーエンジニアリング事業で構成され、国内の浄水場・下水処理場向けの電気設備等の設計・製造及び保守・維持管理等を主たる業務としています。

システムエンジニアリング事業においては、工事進行基準の売上高が前期をやや下回ったことにより、売上高・営業利益共に前期をやや下回りました。カスタマーエンジニアリング事業においては、補修工事や更新工事等が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期と同水準となりました。

	2024年3月期 (百万円)	2025年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,330	5,223	△107	△2.0
営業利益	△1,353	△1,527	△174	—
受注高	15,988	18,077	+2,088	+13.1
受注残高	67,145	77,936	+10,790	+16.1

(運営事業)

運営事業セグメントは、国内の浄水場・下水処理場・資源リサイクル施設の運営事業を主たる業務としています。

売上高は、子会社の業績が順調に推移し前期を上回りましたが、営業利益は、一部の低粗利案件の影響により前期を下回りました。

	2024年3月期 (百万円)	2025年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,116	5,735	+618	+12.1
営業利益	546	330	△216	△39.6
受注高	13,815	19,072	+5,257	+38.1
受注残高	78,218	92,284	+14,065	+18.0

(海外事業)

海外事業セグメントは、海外の浄水場・下水処理場向けの施設・設備の設計・建設及び保守・維持管理並びに民需事業を主たる業務としています。

北米子会社及び欧州子会社の業績が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回りました。

	2024年3月期 (百万円)	2025年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,300	6,969	+1,668	+31.5
営業利益	△578	△63	+514	—
受注高	8,948	10,652	+1,704	+19.0
受注残高	26,659	32,762	+6,102	+22.9

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15,526百万円減少し、153,317百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品が増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ16,587百万円減少し、119,487百万円となりました。

固定資産は、建設仮勘定が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,063百万円増加し、33,782百万円となりました。

流動負債は、契約負債が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ14,760百万円減少し、49,730百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ112百万円減少し、28,563百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払により、前連結会計年度末に比べ653百万円減少し、75,022百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績につきましては、2024年4月24日発表の予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,882	46,932
受取手形、売掛金及び契約資産	103,059	52,588
仕掛品	4,898	7,080
貯蔵品	8,801	9,424
その他	4,432	3,461
流動資産合計	136,074	119,487
固定資産		
有形固定資産	5,768	6,142
無形固定資産		
のれん	2,344	2,412
顧客関連資産	4,404	4,588
公共施設等運営権	900	887
その他	8,406	8,494
無形固定資産合計	16,055	16,382
投資その他の資産	10,895	11,257
固定資産合計	32,718	33,782
繰延資産	50	47
資産合計	168,843	153,317

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,127	9,812
電子記録債務	7,208	10,889
短期借入金	3,591	-
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	697	812
未払法人税等	2,899	436
契約負債	10,552	17,545
完成工事補償引当金	1,044	1,062
受注工事損失引当金	1,236	1,256
その他	12,133	7,915
流動負債合計	64,491	49,730
固定負債		
社債	10,000	10,000
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	12,726	12,370
退職給付に係る負債	4,836	4,972
その他	1,112	1,220
固定負債合計	28,675	28,563
負債合計	93,166	78,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	9,410	9,410
利益剰余金	52,513	49,888
自己株式	△3,640	△3,640
株主資本合計	70,230	67,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111	129
繰延ヘッジ損益	28	47
為替換算調整勘定	2,747	3,735
退職給付に係る調整累計額	△186	△146
その他の包括利益累計額合計	2,701	3,765
非支配株主持分	2,744	3,652
純資産合計	75,676	75,022
負債純資産合計	168,843	153,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	21,161	25,015
売上原価	18,530	20,875
売上総利益	2,631	4,139
販売費及び一般管理費	5,154	6,208
営業損失(△)	△2,522	△2,068
営業外収益		
受取利息	31	46
受取配当金	52	73
為替差益	415	381
その他	16	7
営業外収益合計	515	509
営業外費用		
支払利息	51	64
持分法による投資損失	12	18
投資有価証券売却損	40	-
支払手数料	19	-
固定資産処分損	2	14
その他	7	10
営業外費用合計	134	107
経常損失(△)	△2,141	△1,666
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,141	△1,666
法人税等	△382	△203
四半期純損失(△)	△1,759	△1,463
非支配株主に帰属する四半期純利益	135	115
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,895	△1,578

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,759	△1,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	244	17
繰延ヘッジ損益	△19	53
為替換算調整勘定	△197	987
退職給付に係る調整額	274	39
その他の包括利益合計	301	1,098
四半期包括利益	△1,458	△364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,581	△515
非支配株主に係る四半期包括利益	123	150

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	環境エンジニアリング 事業	システムソリューション 事業	運営事業	海外事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,413	5,330	5,116	5,300	21,161	—	21,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,413	5,330	5,116	5,300	21,161	—	21,161
セグメント利益又は 損失(△)	△1,138	△1,353	546	△578	△2,522	—	△2,522

(注) セグメント利益又は損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	環境エンジニアリング 事業	システムソリューション 事業	運営事業	海外事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,087	5,223	5,735	6,969	25,015	—	25,015
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,087	5,223	5,735	6,969	25,015	—	25,015
セグメント利益又は 損失(△)	△808	△1,527	330	△63	△2,068	—	△2,068

(注) セグメント利益又は損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2024年4月1日付で組織体制を見直し、マネジメント・アプローチの観点から、経営資源配分に係る意思決定及び業績管理を適切に実施し、事業活動の実態をより正確に表すことを目的に、当社グループの報告セグメントについて、当第1四半期連結会計期間より、従来の2区分(プラントエンジニアリング事業、サービスソリューション事業)から、4区分(環境エンジニアリング事業、システムソリューション事業、運営事業、海外事業)に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	406百万円	602百万円
のれんの償却額	71百万円	80百万円